

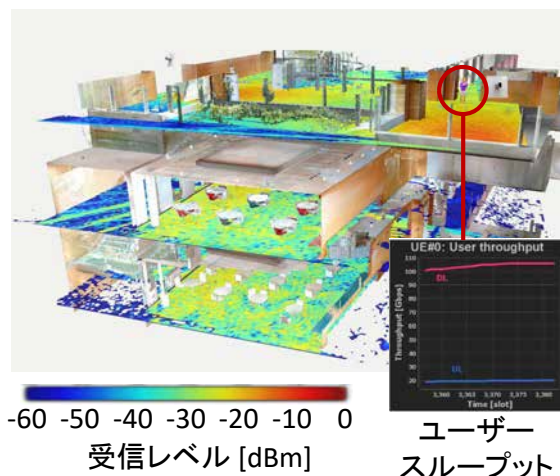
多様な環境において5G/6Gのシステム性能を可視化 ～ 無線通信の導入検討を支援 ～

■ 背景・課題

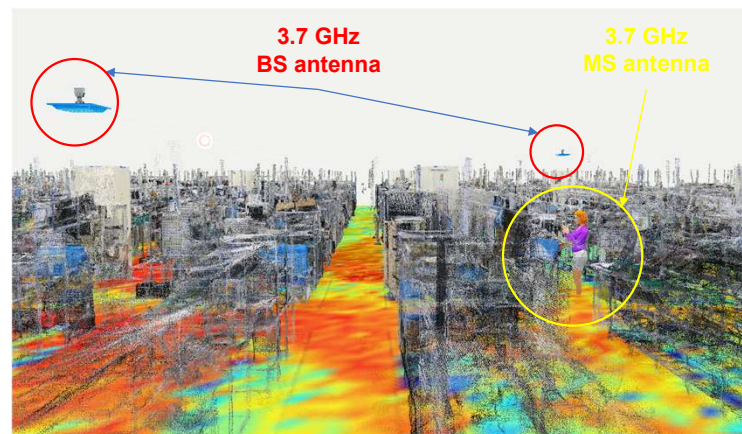
- 5G/6G基地局を設置して産業現場で活用するためには、お客様が想定する通信環境における通信性能を事前に把握することが重要である。
- しかし、設備などの障害物が多く存在する複雑な屋内環境では、通信性能を事前に予測することは容易ではない。

■ 技術の本質・ポイント

- 点群データから構築した仮想空間上で通信性能評価を実施し、導入後に期待される性能を事前に提示することで、**お客様環境に最適な5G/6Gの提供**をめざす。
- また、複数階にまたがるエリア構成や、ユーザ数・移動の有無といった様々な条件での評価および可視化が可能であり、多様な利用シーンを想定した導入検討を容易にする。



5G/6G の通信性能の可視化



製造工場における5G伝送実験の再現

伝送実験との比較による検証

■ ビジネス実装・提供価値

想定業種：産業現場、オフィス、商業施設

導入メリット：無線設計での実測を最小化

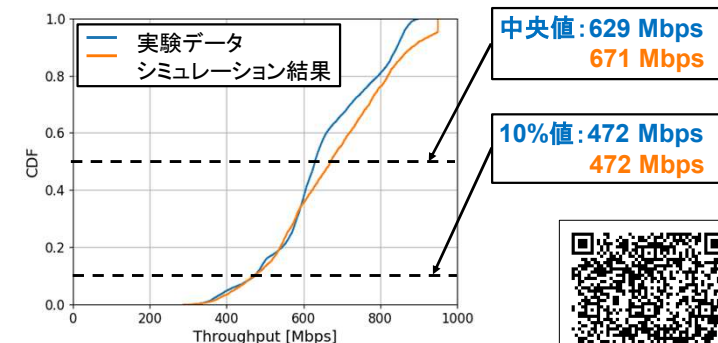
実装フェーズ：**検証中（実環境との比較）**

■ 活用シーン

- 障害物の多い工場における、最適な基地局配置の事前検討
- 商業施設やオフィス等における、複数階エリアをまたぐ通信品質の事前確認

□ 協力企業

ノキア、オムロン(株)



DLスループットの累積分布(CDF)比較

